

# 健康ふっさ 21（第3次）（案）

## 【概要版】

---

### 1 計画策定の背景

国は平成 12 年に「すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会」を目指し、「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）」を開始し、平成 15 年には、国民の健康増進の総合的な推進に関し、基本的な事項を定めた健康増進法が施行されました。その後、平成 25 年度から開始した「健康日本 21（第二次）」では、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を最終目標とし、子どもから高齢者まで全ての国民が、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指し、令和 5 年 5 月には全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け「健康日本 21（第三次）」が展開されております。

福生市の健康増進計画である「健康ふっさ 21（第2次）」が令和 7 年度をもって終了することから、国や都の計画を踏まえつつ、福生市の健康増進の更なる推進に向けて、健康ふっさ 21（第3次）を策定します。

### 2 計画の位置づけ

健康増進法に基づき、国が策定した「健康日本 21（第三次）」及び東京都が策定した「東京都健康推進プラン 21（第三次）」を踏まえて策定する市町村健康増進計画として位置づけています。

本計画は、「福生市総合計画（第5期）」の分野別計画の一つに位置づけられ、地域福祉計画などの関連する他の計画、施策とも整合を図ります。

### 3 計画の期間

本計画は、令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間を計画期間とします。中間の令和 12 年度に中間評価を行い、目標達成状況や社会状況の変化等必要に応じて見直しを行います。

### 4 健康ふっさ 21（第2次）の評価

健康ふっさ 21（第2次）では、4 つの重点目標と 6 つのその他目標を掲げ、それぞれに評価指標を設けて、計画を推進してきました。

結果として、目標値を達成できた指標は10項目（30.3%）であった一方で目標値を達成できなかった指標は23項目（69.7%）という結果となりました。

令和2年度に生じた新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの指標で目標値を達成することができませんでしたが、その一方で「たばこ」、「飲酒」などの指標では大きな改善、変化が見られる結果となり、新型コロナウイルス感染症をきっかけに生活様式や社会・個人の在り方に変化が見られたものもありました。

◎	目標値を達成しています。	・・・10項目（30.3%）
○	目標値には届きませんでしたが、前回結果より改善しています。	・・・5項目（15.1%）
△	目標値には届かず、前回結果とほぼ同数値（±1%以内）です。	・・・9項目（27.3%）
▲	目標値には届かず、前回結果より悪化しています。	・・・9項目（27.3%）

## 5 健康ふっさ21（第3次）

次期計画では、基本理念は前回は踏襲しつつ、新たに総合目標を設けることとします。また、総合目標を達成するために5つの基本目標、16の分野別目標に取り組むことを基本方針とします。

### （1）基本理念

「心も身体も笑顔で元気 みんなで築く健康のまち福生」

### （2）総合目標

指標	指標の方向	目標値	現状値
65歳健康寿命	延伸	現状値以上	男性 82.87 歳 女性 86.19 歳

### （3）基本目標と分野別目標

基本目標	分野別目標
1 生活習慣の改善	栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康
2 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防	がん、糖尿病・循環器病、COPD
3 生活機能の維持・向上	こころの健康、身体の健康
4 社会環境の質の向上	社会とのつながり、多様な主体による健康づくりの推進
5 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	こどもの健康、高齢者の健康、女性の健康